科目分類	看護専門科目　領域別看護			開講時期	3 年	後期
科目名	成人急性看護学実習					
選択/必修	必修	単位数（時間数）	2 単位	90 時間	授業形態	実習
担当教員	池原　弘展　・河合　正成　・山﨑　加代子					
メールアドレス	h-ikehara@tsuruga-nu.ac.jp			オフィスアワー	授業の前後	

授業目的	手術を受ける患者への看護実践を通して、周手術期看護についての理解を深める
授業概要	手術療法の身体への侵襲を理解し、意識的に観察・ケアすることで侵襲を乗り越えられるよう支援する。 患者が治療に積極的に参加できるように、精神面の支援をする。 家族の気持ちも整え、患者を支えられるよう支援する。 患者は社会の中で生活している一個人であり、治療後には社会に戻って行くことを理解しながら支援する。
授業計画	手術療法を受ける患者を対象に、計画的に看護を実践し評価する １）患者に関する情報を、体・こころ・社会関係・時の流れの４視点で整理し、事実をつなげながら患者を全人的に捉える。 ２）発達段階、健康障害の種類、健康の段階、生活過程の特徴の４方向から、情報の意味を考え、患者の特性を捉える。 ３）全身機能をアセスメントし、術中、術後に予測される問題を整理する。 ４）手術に伴う葛藤・不安が生じていないかアセスメントし、手術に向けて心が整うよう支援する。 ５）術後は、患者の身体的条件、手術浸襲や術式等から予測される問題（リスク）が生じることなく回復過程を歩めるよう支援する （合併症の早期発見を目的とした観察や早期離床への支援） ６）手術によってもたらされた機能低下を理解し、生活に適応できるよう支援する。 ７）退院後の生活を見据えて、健康な生活へ歩み出せるよう支援する
教材 参考文献等	成人急性看護学・フィジカルアセスメントでの講義資料
成績評価 基準・方法	実習目的の達成度、実習への取り組む姿勢や態度から総合的に評価する

履修要件	成人看護学概論、成人急性看護学を修得していること
留意事項 その他	
実務経験のある 教員の教育方法	看護師としての臨床経験を活かして、周手術期における患者に必要な看護実践の実習指導を行う。